

第65回東北民教研『男鹿集会』のご案内

主催 東北地区民間教育研究団体連絡協議会・日本教職員組合東北地区協議会

東北民教研テーマ 「北方教育の遺産を継承し、国民教育の創造をめざそう」
 —やさしい言葉で深い思想を、地域の現実のより深い把握を—

男鹿集会テーマ 「共に学ぶ楽しさを！」～競争より共同の民主的学校づくり～

■日時 2016年 8月6日(土)～8日(月)

■会場 男鹿温泉 男鹿観光ホテル (※分科会の一部は男鹿北中学校にて実施)
 秋田県男鹿市北浦湯本字草木原21 TEL 0185-33-2121

【アクセス】JR男鹿線「羽立駅」から車で約20分
 秋田自動車道「昭和・男鹿半島IC」から車で約40分

※6日(土)はJR秋田駅よりホテルのバスによる迎えあり(事前連絡必要:無料)
 【秋田駅東口5番乗り場から】10:45発 → 男鹿駅11:30頃 → ホテル着12:00頃



■日程 12:00 13:20 14:00 14:15 18:00 18:30 19:30

6日(土)	準備	受付(～13:00) ◆歓迎アトラクション	開会行事	移動	分科会Ⅰ	移動	夕食	DVD上映会「かすかな光へ」 及び「青年の交流会」	運営委員会 20:30～
	9:00	12:00	13:00	13:30	15:30	16:00	18:00	19:00～	
7日(日)	朝食	分科会Ⅱ	昼食	移動	記念講演	移動	特別分科会	休憩	夕食・交流会
	9:00	11:00	11:30	12:00	12:30				
8日(月)	朝食	分科会Ⅲ	移動	閉会行事	運営委員会	◆6日の歓迎アトラクションは、①「男鹿子ども民謡教室」の小・中学生による民謡(12:30～12:50) ②「男鹿北中学校なまはげ太鼓クラブ」による演奏(12:50～13:20)です。是非ご覧ください。			

■費用 ◇宿泊費 10,000円【1泊2食】(各教組・支部の自主研修助成があります。詳しくは分会長または教組支部へお問い合わせ下さい。)
 (*①3歳以上の幼児は3,500円、小学生は5,000円、中学生以上は大人料金)
 (*②1人部屋は16,000円、2人部屋は1人につき13,000円) ※原則1部屋4人前後の宿泊です。

2日以上参加の方には、後日、集会記録集をお送りします。

◇参加費 教職員3,000円 退職教職員3,000円 一般(保育士、父母、他)・学生1,000円
 ※1日のみ参加 教職員1,000円 退職教職員1,000円 一般(保育士、父母、他)・学生500円

◇弁当(7日昼のみ) 700円(お茶つき) <要予約>

◇保育料 子ども1人半日につき500円 (6日午後、7日午前・午後、8日午前開設)

○記念講演 8月7日(日)13:30～15:30

演題 『いのちをみつめて～おしばいとおはなし～』

—ふるえるような怒りの奥底に、すぎるような生命の願いがあった—

講師 有馬理恵さん(劇団俳優座)

水上勉原作「釈迦内枢唄」ダイジェストバージョン上演を交え、命を見つめ、差別と戦争をなくすために大切なことは何か。昨年、秋田と鹿角で講演し、深い感動を残してくれた有馬さんが再び秋田県へ!



<講師紹介>和歌山県生まれ。劇団俳優座所属。高校時代に「釈迦内枢唄」(水上勉作、浅利香津代主演)を観て衝撃を受け、芝居の道へ。1991年俳優座入団。「先生のオリザニン」「かもめ」「肝っ玉おっ母とその子供たち」「憲法ミュージカル」など数多くの作品に出演しつつ、1999年より「釈迦内枢唄」をライフワークとして各地で主演。その数は500ステージにおよぶ。2012年より演出は米倉斉加年が担当。2013年日本新劇俳優協会「朗読・Mini Festival」観客賞受賞。2012年米国際イビル国際映画祭最優秀ドキュメンタリー賞受賞作品、映画「円空・今に生きる」で、円空の母を演じる。2003年文化庁新進芸術家国内研修生。10歳の息子の母。

○特別分科会 7日(日)16:00～18:00

①「特別」な支援を必要とする子どもが生きる学級・学校づくり ・(岩手)学級に数名の「手のかかる子」がいた。個々への対応には限りがある。みんなに「たのむぞ、みんなの力が必要だ。」との思いを伝えた。それが、次第に周りの子どもたちに自覚され、問題を乗り越えていった実践を報告する。 ・(宮城)現任校には、特別支援学級が4学級と発達障害の通級指導教室がある。ここで「ことばの教室」を担当している。支援の事例を紹介しながら、学校の支援システムがどう機能しているか、課題はないかなど、報告を行う。 報告:岩手/宮城	②原発・震災問題を考える —現地からの報告— ・福島第一原発事故から5年。甲状腺癌の問題、原発被災地の復興関連事業での大儲けを狙っている財界の動き、そのことに関わって義務教育から大学までが「産学官」共同体制に組み込まれようとしている実態を報告します。 ・震災から5年。震災と子どもたちの関係は見えにくくなっていますが、家庭や学校のできことは震災の記憶が確実に子どもたちの体に刻まれている様子を教えてください。日常の子どもたちの姿や生活から見える震災を報告します。 報告:遠藤慎一(福島)・鎌田克信(宮城)	③異常さを増す「学力」向上策 —豊かな学びを学校に取り戻そう— 昨年8月の中教審の論点整理には OECDのPISA調査とその影響下にある「全国一斉学力テスト」の結果をもとに「育成すべき資質・能力」としてアクティブラーニング等の言葉が並んだ。「活用力」という耳障りのよい言葉を用いて学校の教科で扱われる知識や技能の習得を超えた部分まで評価しようとするのが、如何に学校のストレスを高め子どもや教師を傷つけ疲弊させているのか、各県の現状を交流し本来の学舎を取り戻す道を考えていきたい。 報告:山形/秋田	④学校統廃合・小中一貫校と人口減少、過疎化を考える ・行政側からの急な要請で、強引に進められる統廃合。統合のメリットという幻想は誰がつくるのか。子ども、保護者、地域、教職員への影響を考えたい。(福島) ・青森県教育行政は、人口減少と過疎化を前に、平然と「切磋琢磨」論と「適正規模」論で「学校統廃合」を繰り返して「学力競争」を煽る。人口増加は、仙台市とその周辺のみ。若者の流出が続く東北の人口減少と過疎化について、対策も含めて論議したい。(青森) 報告:黒沢和美(福島)・寅谷正(青森)
--	--	---	---

【参加申し込み・問い合わせ先】〒990-0044 山形市木の実町12-37 山形県民間教育研究団体連絡協議会(県教組山形地区支部書記局内) 東海林 仁 宛

TEL 023-631-2112 FAX 023-631-2126 Eメール papas59.shoji94@gmail.com

第65回東北民教研「男鹿集会」参加申込書(下記の内容で葉書・封書・FAX・メール等で送って下さい。) 宿泊申込最終締切 7月26日(火)

氏名	学校・所属等	連絡先 【自宅・携帯の電話番号】	宿泊の予約 【日にちを〇で囲む】	1人・2人部屋(割増料金) 希望【〇で囲む】	弁当予約 【〇を記入】	ホテル迎え希望 【6日秋田駅】	講演 【〇を記入】	分科会 【番号記入】	特別分科会 【番号記入】	保育の予約 【予約する時間帯を全部〇で囲む】
			6日 7日	無 有(1人・2人)						6日午後 7日午前 7日午後 8日午前
			6日 7日	無 有(1人・2人)						6日午後 7日午前 7日午後 8日午前
			6日 7日	無 有(1人・2人)						6日午後 7日午前 7日午後 8日午前

分科会名	<p style="text-align: center;">テーマ・講座・実践レポートなど</p> <p>分科会Ⅰ 6日(土) 14:15~18:00 分科会Ⅱ 7日(日) 9:00~12:00 分科会Ⅲ 8日(月) 9:00~11:00</p>	<p>■子ども・青年のからだと心の現状を探り、身体と運動文化の主人公に育てる実践の創造～子どもたちと共に、希望ある未来を創造していくために～ 子どもたちは、「平均」という名の下で、学習でも、体力づくりでも競争にさらされています。目の前の子どもに寄り添い、関わり、見守っていく実践が、本分科会の基調です。子どもの姿から、子どもの今、私たちの今を語り合い、本当に大切なものを探っていきましょう。</p> <p>＜実践報告＞ ○「高校・保健室からの実践」 畑山 美帆(岩手) ○「小学校低学年の水泳～呼吸を大切にしたい水遊び～」 江島 隆二(宮城・宮城) ○「5年生と取り組んだびらち会わせ太鼓」 鎌田 克信(宮城・山形)</p> <p>《実践講座》横跳び越しから抱え込み跳びへ～みんなで楽しくできる跳び箱運動～ ・江島隆二先生の実技に学び、輝く子どもの姿を広めていきましょう。 ただできるのではなく、段階を踏みながら「分かってできる」跳び箱の指導法です。</p>
① 国語と教育	<p>■子どもたちをすぐれた日本語の担い手に 今教室では、学力調査の名のもと、点数をくらべられ、テスト対策がはびこっている現状があります。日本語は、言語として、整然と体系化されています。今までの教科書に載っている文法は、細分化され理解の域をこえています。 今こそ新しいほんとうの日本語文法を学び合い、よみ方にいかず授業をつくる時です。 集まって学び合しましょう</p> <p>●基礎講座 6日(土) 分科会Ⅰ 「あたらしいにっぽんご」 ●各県実践レポート 物語文・説明文の読み方の授業/にっぽんご文法の授業</p>	<p>⑩ 身体と教育</p> <p>⑪ 教職指導と</p> <p>■東北の生活指導の課題 ●小中学校に分かれ、たっぴりとレポートを分析し、多くのことを学び合います。 ●参加者の要望に応えられるように「学級集団づくりの講座」「学級を盛り上げるゲームワークショップ」を行います。 ●学級担任として「弱音をたくさん吐き合って、困っていることや悩みも吐き合って、共感力を育む指導」を学び合います。</p>
② 作文と教育	<p>■子どもの内面に寄り添い、生活を見つめ、事実をありのままに書き綴ることを通して、人間らしい感性や生き方を育てる生活綴方の実践はどうあればよいか。</p> <p>1 基調報告 6日(土) 14:15~16:00 「生きづらい社会にあって子ども・父母・地域とつながる」 ～貧困と格差が広がるなかにあって～ 福島県 白木 次男</p> <p>2 基礎講座 6日(土) 16:15~18:00 「心が開くとき」 秋田県 生田目 静子</p> <p>3 実践報告 7日(日) 9:00~12:00 ①「小学校からの実践報告」 (岩手: 小学校) ②「中学一年生の実践」 近野 享子 (山形: 中学校)</p> <p>4 総括討論 8日(月) 9:00~11:00 ○二日間の報告をめぐっての討論とまとめ</p>	<p>⑫ 高校生と教育</p> <p>■高校教育の現状と未来の展望 ●6日(土) 分科会Ⅰ ○高校生の「学力」・高校改革の話題/中高一貫教育校の現状(秋田県内中高一貫校教員)/スーパーハイスクールの現状と問題点(秋田県内SSH高教員)/専門高校の教育が目指すもの(秋田県内専門高教員)/高校再編・統合問題(秋田高教組教文部) ●7日(日) 分科会Ⅱ ○東北各県参加者によるミニ報告と情勢交換/「主権者教育」を論じる《柴田洋幸》/スクールカーストを論じる《北川智彦》/高校教育政策(統廃合・学力)を論じる《加賀屋俊悦》 ●8日(月) 分科会Ⅲ ○高校生の貧困、心と身体、生活指導、生徒の自主活動の話題/定時制通信制課程における生徒の貧困と特別支援の現状《菅徹》/生徒会での「主権者」にふさわしいパートナーシップ教育《柴田洋幸》</p>
③ 外国語と教育	<p>■自立して学習できる子どもに育てる ●講座 6日(土) 14:15~18:00 講師: 桑原 孝 (塩竈市立第三中学校) 「作品の読み Mother, Winesburg, Ohio, S. Anderson」 作品を話の構造を分析しながら丁寧に読んでいきます。速読では見落としがちな、作品に作者が仕組んだ細やかな趣向も読みとります。原書を読む、というのは、一見、中学・高校の普段の授業とかけ離れているように思えますが、授業力をつけるには、遠回りのように、実は一番の近道のような道です。辞書の使いに、文の構造、段落の構造、文体、視点、比喩、語りの構造などを話題にします。</p> <p>■分科会の概要 学習での「自立」は3つ。①音読での自立: 範読なしに、つづり字と発音の関係から自分で音読ができる。②文法での自立: 文の組み立てをもとに、必要ならば辞書を引き、文を頭から理解できる。③談話での自立: 段落・話のつくりを意識し、段落を単位に、書き手・話し手の意図を正確に理解する。系統的な教材と物事を学んでいく認識過程を考えて創った授業は、これら3つの自立を夢物語ではないものにします。</p>	<p>⑬ 幼年と教育</p> <p>■東北の保育を見つめる ・各県の「保育」の状況を出し合い、情報交換をする中で、地域や父母の願いを捉えていきたい。 ・子どもを深く理解し、人との関わりを育てる保育を学ぶ。</p> <p>●6日(土) 14:15~18:00 ①基調報告 報告者: 丹野 広子(宮城) 讀岐信孝(秋田) ②レポート発表(秋田から) ※分科会は6日(土)の1日間だけ開催します。</p>
④ 社会科と教育	<p>■地域再生にむきあう社会科教育のあり方を考える 一地域や生活の現実から課題を把握し、追求できる子どもの育成を目指して一</p> <p>●入門講座 6日(土) 14:15~18:00 (この時間帯の前段で) 「男鹿の素材をこんなふうに教材化しました」 講師: 渡部 豊彦(秋田) ※男鹿の歴史・文化・現実を生かした授業づくりのいくつかを紹介しながら、地域をどう掘り起こし教材化するか、みんなで考えたい。</p> <p>●話し合いたいこと ・地域には、過疎、少子高齢化、一次産業の衰退、震災・原発などさまざまな課題がある。それらの課題を明らかにし、社会科はどう地域再生に向き合うべきか。 ・戦争体験の継承が困難になりつつある今、今後どう継承を図っていくべきか、どのような平和学習の実践・展開が可能なのか。 ・18歳選挙権時代に、小中高では政治をどう学ぶのか、憲法を自分の力にするにはどのような学習が必要なのか、また、「教育の中立性」とは何なのか。 ・社会科で培うべき「学力」とは何か。</p>	<p>⑭ 種が教育にある</p> <p>⑮ 演劇と教育</p> <p>■子どもたちに生きる力を一子ども、教師、家庭をつなぐ実践を交流し合おう ○自己紹介をしながら、現在直面している問題や課題、日頃の悩みについて語り合ひましょう。 ○実践交流をしましょう。 ・指導記録や写真、記録映像などをもとに実践についての交流をし、参加者同士で意見交換をしたり、アイデアを出し合ったりしましょう。 ○障害のある子の教育の課題について意見交換をしましょう。 ・就学指導や進学(高校または高等部など)、就労問題など、進路に関すること ・保護者への支援や連携のあり方 ・発達上の問題をもつ子どもへの支援や指導について ・特別支援教育を考えるために必要なこと一教員や支援員など</p> <p>■子どものころと身体を育む表現活動とは 「演劇と教育」分科会では、子どもの演劇や演劇的な身体表現活動の実践を通して子どもの「こころと体ほぐし」や豊かな表現活動や文化活動をどう育てるかを討議の柱としています。 《レポートの予定》 ○「子どもの表現を高める指導の実際」(福島・小学校) ○「演劇活動を通して学校文化を高める文化祭の実践」(福島・中学校) ○「市民とともにつくる演劇活動の実際～大館市民劇場の実践から～」(秋田) ○子どものからだ・気持ちを育てるレッスン ○参加者からの提言・レポート(文化祭や学習発表会での実践を持ち寄り、交流しましょう。)</p>
⑤ 算数・数学と	<p>■子どもとつくる算数・数学を! 具体的な活動や体験から出発して、教室で子どもたちといっしょに考えて算数・数学の世界を創っていくことを目指す実践報告を予定しています。 小学校・中学校・高等学校の各校種のベテランの先生から、授業の勘所・コツなど、自由な会話の中から新しい発見があると思います。 どうぞお気軽にお越し下さい。</p>	<p>⑯ 教育をとりまく状況を分析し、それをいかに文学作品化するか</p> <p>○「小林多喜二 生地からの発信」(秋田県多喜二祭の記録第3集) 発行について 工藤 一紘(秋田) ○「教育現場とその作品化」 戸田 慎一(宮城) ○「第17回シヨパンコンクールと戦争の記憶」 大山 兼司(秋田)</p>
⑥ 理科と教育	<p>■やさしく本質的な実験・観察を生かした理科教育の創造</p> <p>1 「原発事故から5年、福島の今」 佐原 成典(福島) 2 「全校で取り組むホテル学習とピオトープ」 大和谷 剛(秋田) 3 参加者からのレポート発表・実験の紹介など</p> <p>※3日目(8日)の分科会は、男鹿半島ジオパークの一部、西黒沢海岸～入道崎への巡検を実施する予定です。</p>	<p>⑰ 学校と教育</p> <p>■子どもに夢と希望を育む学校づくりを、父母と地域と共に 学校現場、地域、市民運動などさまざまな場面で活動している参加者が、多様な視点から「教育」を問い直します。。</p> <p>●分科会の内容・実践レポートなど ○通級指導担当者からの報告(宮城) ○民主教育を進める青森県民連合の取組から(青森) ○異文化をルーツに持つ子どもの日本語教育のあり方(秋田) ○『ともに学ぶ人間の歴史』(学び舎)を読む(秋田) ○文化で闘う(秋田) ※ほかにも各県からのレポートを予定</p>
⑦ 音楽と教育	<p>■音楽を生きる喜びに ○保育・授業の実践を聴く 基調報告(6日の分科会Ⅰ)の後、参加者の実践を聴き、子どもたちの喜びや輝き、どんな教材曲を選び、どう働きかけたのかなどを学び合います。</p> <p>●7日(日) 分科会Ⅱ みんなでリズム表現したり、歌を歌ったりしよう 講師: 日食 正昭(宮城) ピアノの音を聴き、感じた音楽を身体で表現します。また、参加者のピアノでたくさん歌います。新しい魅力を発見することでしょう。</p> <p>○レポート発表予定 「保育の実践」 日食 正昭 (基調報告・宮城) 「保育の実践」 石倉 千賀子 (青森) 「小3～4年の実践」 高橋 淑子 (岩手) 「小4年の実践」 桜田 千代子 (秋田)</p> <p>※その他、秋田をはじめ参加者のレポートも聴きます。</p>	<p>⑱ 国民教育運動</p> <p>■3.11東日本大震災から6年目、被災地の復興・復興は / 教育基本法改正から10年、地域の子育て・教育・文化の共同の取組について</p> <p>●分科会の内容 ①東北各県の子どもと教育の現状についての交流 ②地域の総がかり運動と教育(秋田) ③岩手の高校における「高校への観点別評価の導入について」 2016年度からスタートした「岩手の県立高校再編成計画」について(岩手) ④「社長って楽しい!」・・・地域づくりと雇用の問題 ⑤3.11 東日本大震災・福島原発事故からの復興の課題(宮城) ⑥18歳選挙権と教育行政(宮城) ⑦中学校の教科書採択にかかわる問題(宮城)</p>
⑧ 算数と	<p>■子どもの絵や作品を持ち寄ろう! 語ろう! 子どもの絵や作品の見方、指導の仕方について話し合ひましょう。</p> <p>※子どもの絵や作品を持参しなくても参加できます。</p>	<p>⑲ 性別と教育</p> <p>■地域に根ざし、子どもの発達を保障する生活科・総合学習はどうあればよいか ①基礎講座 / ②実技講座 吉田 智子(岩手) 6日(土) ①14:15~15:00 / ②15:15~16:00 ①たんけん授業(ホテル前→森探検) ②教室でできる草もちをつくろう、染めものをしよう</p> <p>●レポート討議 i 6日(土) 16:10~18:00 ii 7日(日) iii 8日(月) i 「品井沼の干拓・満州分村移民、8.5豪雨の授業」 小野寺勝徳(宮城) ii 「ほおずきプロジェクト」 LOVE ほおずき 館岡めぐみ(秋田) iii 「思いをつなごう。3.4年総合「ようこそ先輩」より」 山本 公恵(岩手) iv 「3年総合『見つけたよ! 地域の名人・達人』より」 東海林 仁(山形)</p>
⑨ 算数と	<p>■小中高を一貫した技術教育としての教材づくり・授業づくり 中学校技術科だけでなく、小学校、高等学校における技術教育について議論し、教材や授業について考えたいと思います。</p> <p>●実践レポート ①「コンピュータによる制御学習」・他 高橋 克典(岩手 湯口中学校) ②その他</p>	<p>⑳ 不登校と教育</p> <p>■「高度に競争的な教育環境」と不登校、「低賃金長時間労働環境」とひきこもり ＜基調提案＞ 4,181件(2016年5月現在)の相談から見えてきたこと ……岩手 ポランの広場 中村信之</p> <p>＜レポートの予定＞ ○原発事故から5年、子ども若者たちの体は? 生活は? ……(福島) ○浅虫集会所から1年、月に一度集まっています ……能代市 腰山郁子 ○『ふらっと回復モデル』 ……大崎市 NPO法人光希屋 ロザリン・ヨン ○「アタマに来ていい事」 ……由利本荘市 ひなた 三浦伸子 ○「掃除調理古紙回収をやっています」…湯上市 男鹿湯上南秋教育会館 若者たち ○就労支援 ……三種町 長信田の森 水野淳一郎</p>